

排出削減実績報告書

排出削減事業の名称：

木質バイオマスボイラによる CO2 排出削減
プロジェクト

排出削減事業者名：株式会社 松島

排出削減事業共同実施者名：株式会社 F T カーボン

その他関連事業者名：

1 排出削減事業者の情報

排出削減事業者	
会社名	株式会社 松島
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	メトロポリタン松島
住所	新潟県柏崎市鯨波乙 1828
排出削減事業共同実施者（J-クレジット保有予定者）	
排出削減事業共同実施者名	株式会社 F T カーボン
その他関連事業者	
関連事業者名	

2 排出削減活動の概要

2.1 排出削減事業の名称

木質バイオマスボイラによる CO2 排出削減プロジェクト

2.2 排出削減事業の目的

本事業では、ホテルの加温、給湯用のボイラと暖房用冷温水器を、木質ペレットボイラに転換することにより、灯油使用量（CO2 排出量）を削減する。

2.3 温室効果ガス排出量の削減方法

ボイラの更新により、灯油から木質バイオマスへの燃料転換を行い、CO2 の排出削減を行う。

2.4 J-クレジット認証要件の確認

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

2.5 承認排出削減事業計画からの変更項目

変更なし

3 排出削減活動期間

3.1 プロジェクト開始日

2010年4月1日

3.2 モニタリング対象期間

(本報告における実績報告期間)

2013年4月1日 ～2016年3月20日

4 温室効果ガス排出削減量

4.1 採用した排出削減方法論の情報

方法論番号	方法論名称
001	ボイラーの更新
004	空調設備の更新

4.2 活動量

4.2.1 活動量・原単位

活動量・原単位は採用しない

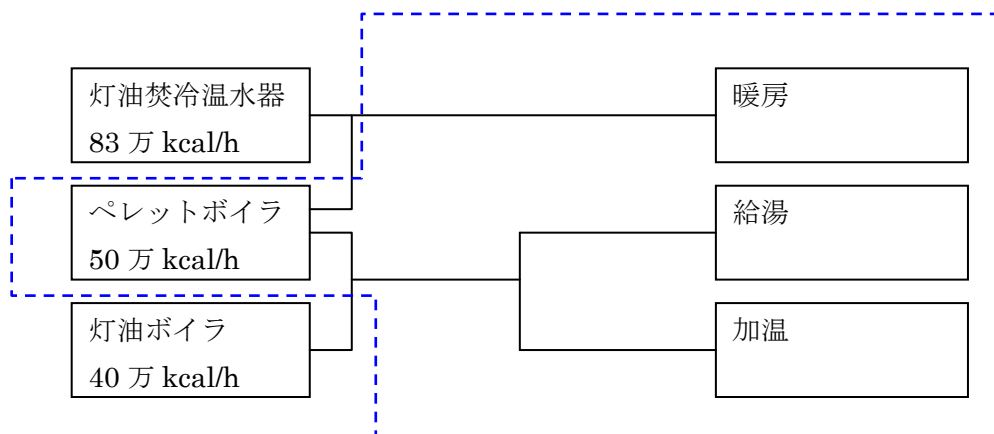
4.2.2 活動量の採用根拠

活動量は採用しない

4.3 事業の範囲（バウンダリー）

バイオマスボイラ及びボイラから温水の供給を受ける設備とする。

<事業実施範囲>



5 モニタリング対象指標

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法・ 根拠資料	(モニタリング方法に変更 ある場合) 変更理由
F ペレット, BL	事業実施後のボイラー用 ペレット使用量	t	74.273【2013年4月～11月】 292.299【2013年12月～2016年3 月】	燃料供給会社からの 請求書、納品記録	—
	事業実施後の空調設備用 ペレット使用量	t	21.777【2013年4月～11月】 204.701【2013年12月～2016年3 月】	燃料供給会社からの 請求書、納品記録	—
H Vハイマ ス,PJ	事業実施後のペレットの 単位発熱量	GJ/t	19.866【2013年4月～11月】 19.400【2013年12月～2016年3月】 (高位)	燃料供給会社からの 分析書	—
ε BL1	ベースラインボイラーのボ イラー効率	%	79.9 (高位)	カタログ値より計算	—
ε BL2	ベースライン冷温水器の 効率	%	90.2 (高位)	カタログ値より計算	—
ε PJ	更新ボイラーの効率	%	78.9 (高位)	カタログより計算	—
CF 灯油, PJ	灯油の単位発熱量あたり の CO2 排出係数	tCO2/GJ	0.0686	デフォルト値を確認	—

6 排出削減量の計算

6.1 事業実施後排出量

【方法論 001 ボイラーの更新】

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
EM _{PJ}			0.0 (t-CO ₂)

【方法論 004 空調設備の更新】

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
EM _{PJ}			0.0 (t-CO ₂)

6.2 ベースライン排出量

【方法論 001 ボイラーの更新】

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
74.723 (t)	19.866 (GJ/t)	0.0686 (tCO ₂ /GJ)	
78.9 (%)			
79.9 (%)			
292.299 (t)	19.400 (GJ/t)	0.0686 (tCO ₂ /GJ)	
78.9 (%)			
79.9 (%)			
EM _{BL}			484.6 (t-CO ₂)

【方法論 004 空調設備の更新】

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
21.777 (t)	19.866 (GJ/t)	0.0686 (tCO ₂ /GJ)	
78.9 (%)			
90.2 (%)			
204.701 (t)	19.400 (GJ/t)	0.0686 (tCO ₂ /GJ)	
78.9 (%)			
90.2 (%)			
EM _{BL}			264.2 (t-CO ₂)

6.3 リークージ排出量

【方法論 001 ボイラーの更新】

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
			0
LE			0

【方法論 004 空調設備の更新】

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
			0
LE			0

6.4 温室効果ガス排出削減量

【方法論 001 ボイラーの更新】

項目	記号	
ベースライン排出量 (7.2)	<i>EM_{BL}</i>	484.6
事業実施後排出量 (7.1)	<i>EM_{PJ}</i>	0.0
リークージ排出量 (7.3)	<i>LE</i>	0
温室効果ガス排出削減量	<i>ER</i>	484

【方法論 004 空調設備の更新】

項目	記号	
ベースライン排出量 (7.2)	<i>EM_{BL}</i>	264.2
事業実施後排出量 (7.1)	<i>EM_{PJ}</i>	0.0
リークージ排出量 (7.3)	<i>LE</i>	0
温室効果ガス排出削減量	<i>ER</i>	264

【合計】

項目	記号	
温室効果ガス排出削減量	<i>ER</i>	748

7 省エネルギー量

本事業は、再生可能エネルギーを利用するプロジェクトのため、省エネルギー量はない。

8 再生可能エネルギー利用量

【方法論 001 ボイラーの更新】

	モニタリング期間 (2013年4月1日 ~ 2016年3月20日)			
		エネルギー使用量	熱量換算 (GJ)	原油換算(kl)
	単位	(実績)	(実績)	(実績)
バイオマス利用量	t	367	7,155 GJ	184.6 kL

【方法論 004 空調設備の更新】

	モニタリング期間 (2013年4月1日 ~ 2016年3月20日)			
		エネルギー使用量	熱量換算 (GJ)	原油換算(kl)
	単位	(実績)	(実績)	(実績)
バイオマス利用量	t	226	4,404 GJ	113.6 kL